RICOH

RICOH MP C6004/C5504/C4504/C3504/
C3004 /C2504 シリーズ

はじめにお読みください

本機に関する安全上のご注意 1

本機に関するその他の情報 2

付録 3

本書にない情報は、使用説明書（電子データ）を
弊社ホームページ
(http://www.ricoh.co.jp/support/manual/)
からご覧ください。



ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。
また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず本書の「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. 本機に関する安全上のご注意

本機で使用している安全記号 3

安全上のご注意 4

表示について 4

守っていただきたいこと 4

安全に関する本機の表示 13

警告、注意のラベル位置 13

接地、電源スイッチの記号 17

2. 本機に関するその他の情報

法律・規制 19

法律上の禁止事項 19

レーザーの安全性 20

電波・高調波電流に関する事項 21

3. 付録

商標 23

1. 本機に関する安全上のご注意

安全に関する注意事項を説明します。

本機で使用している安全記号

本機で使われている安全記号には以下のような意味があります。

	一般注意
	一般禁止
	接触禁止
	火中投棄禁止
	掃除機使用禁止
	子供の接触禁止
	子供の接触禁止
	高温注意
	アース線を必ず接続せよ

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

安全表示の例です。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、“分解禁止”を表します）



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します）

守っていただきたいこと

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

接地接続について守っていただきたいこと

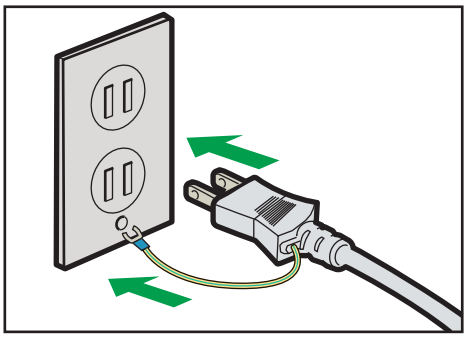
⚠警告

- 接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。接地接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- 接地接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

1. **操作部右側にある主電源ランプが消灯していることを確認します。**
2. **アース線を接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。**



CUY012

使用環境について守っていただきたいこと

⚠警告

- 機械の近くや内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。また、機械の近くや内部に置かないでください。火災や感電の原因になります。

- この機械の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

⚠注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



- この機器の上に重いものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になります。



- 換気の悪い部屋や狭い部屋で、長時間連続して使用するときや、大量の印刷を行うときには、部屋の換気を十分に行ってください。



- この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。

電源プラグ、電源コードの取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告



- 表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 表示された周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。



- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠警告



- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。



- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源プラグに焦げ跡がある
  - 電源プラグの刃が変形している
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



- 電源コードは年１回以上コンセントから抜いて、点検してください。
  - 電源コードの芯線の露出・断線などがみられる
  - 電源コードの被膜に亀裂、へこみがある
  - 電源コードを曲げると、電源が切れたり入ったりする
  - 電源コードの一部が熱くなる
  - 電源コードが傷んでいる
- 上記のような状態のときは、そのまま使用せずに販売店またはサービス実施店に相談してください。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

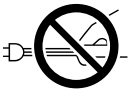


- 電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。また、接触不良になりやすい、ゆるくグラグラするコンセントで使わないでください。発熱の原因になります。

⚠注意



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



- お手入れをするときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用電源

電源コードは、100V、15A、50/60Hz のコンセントに接続してください。

本体の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなど異常状態が見られるときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



- 近くで落雷が発生しているときは、本機に触らないでください。感電の原因になります。

⚠警告



- ポリ袋の　WARNING　表示の意味は次のとおりです。
  - 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 給紙テーブル（オプション）を接続したまま移動するときは、本体上部を無理に押さないでください。本体と給紙テーブルがはずれて、けがの原因になります。



- 機械を移動したときは、キャスター留めをするなど固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。



- 1 段給紙トレイまたは 2 段給紙トレイを接続している状態で、用紙を交換したり補給したりするときや、紙づまりを取り除くときは、一度に複数のトレイを開けないでください。本体上部を無理に押すなどの力が加わると、機械が倒れるおそれがあり、けがの原因になります。



- 他のフロアへの移動など、本機を持ち上げて運搬・移動するときは、サービス実施店に依頼してください。機械を落としたり倒したりすると、けがや故障の原因になります。



- 光源は見つめないでください。目に障害を与えることがあります。



- 機械を移動するときは、操作部を持たないでください。故障の原因になったり、操作部が破損して、けがをすることがあります。



- 自動原稿送り装置（ADF）を閉めるときは、ヒンジ部や原稿ガラスに手を置かないでください。手や指を挟み、けがの原因になります。

機械内部の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を分解・改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

⚠注意



- 機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。やけどの原因になります。



- 機械内部には触れると故障する恐れのある部品があります。紙づまりを取り除くときは、『こまったときには』で示しているコネクター、センサー、LED などに手を触れないでください。故障の原因になります。



- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。



- 紙づまりを取り除くときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。



- フィニッシャーのステープルユニットを引き出すときや戻すとき、紙づまりを取り除くときは、中とじ排紙口に手を入れて操作しないでください。機械のすき間に指を挟み、けがの原因になります。



- 安全装置によりけがをしないように設計されていますが、機械が動いているときは、ローラ、コロなどに手を触れないように注意してください。



- 機械内部の掃除をサービス実施店に相談してください。機械内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、機械内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

消耗品の取り扱いについて守っていただきたいこと

⚠警告



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。



- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。



- こぼれたトナー（使用済みトナーを含む）を掃除機で吸引しないでください。吸引されたトナーが掃除機内部の電気接点の火花などにより発火や爆発の原因になります。ただし、トナー対応の業務用掃除機は使用可能です。トナーをこぼしたときは、トナーを飛散させないように、水で湿らせた布などで拭きとってください。



- ポリ袋の　WARNING　表示の意味は次のとおりです。
  - 本製品に使用しているポリ袋などを乳幼児の近くに放置しないでください。口や鼻をふさぎ、窒息する恐れがあります。

⚠注意



- トナーの入った容器を無理に開けたり、強く握ったり、つぶしたりしないでください。トナーが飛び散ると、トナーを吸い込んだり、衣服、手、床などを汚す原因になります。



- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器、およびトナーの付着した部品は子供の手の届かないところに保管してください。子供が誤ってトナーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。



- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーを吸入しないようにしてください。トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだときは、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。



- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだときは、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナー（使用済みトナーを含む）の入った容器、およびトナーの付着した消耗品を交換するときは、トナー粉が飛び散らないように注意してください。取り外した使用済み消耗品は、ふたのあるものはふたをした上で袋に入れてください。

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで衣服などを汚さないように注意してください。衣服についたときは、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

- 紙づまりを取り除くときやトナー（使用済みトナーを含む）を補給または交換するときは、トナーで手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についたときは、石鹸水でよく洗い流してください。



- SD カード、USB メモリーは、子供の手に触れないようにしてください。もし子供が誤って SD カード、USB メモリーを飲み込んだときは、直ちに医師の診断を受けてください。

- ステープラーの針がついたままの用紙や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

安全に関する本機の表示

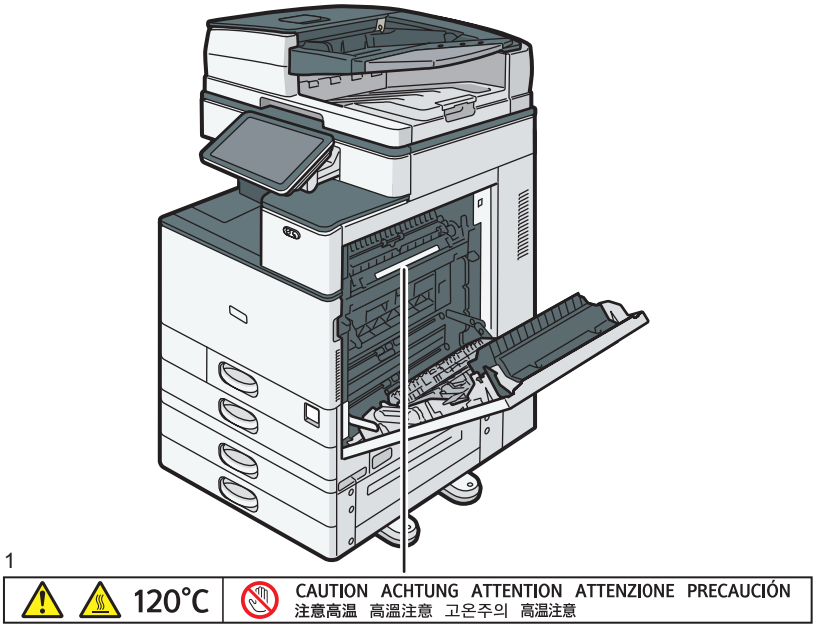
本機に表示されている安全に関する情報です。

警告、注意のラベル位置

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、⚠警告、⚠注意のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

本体

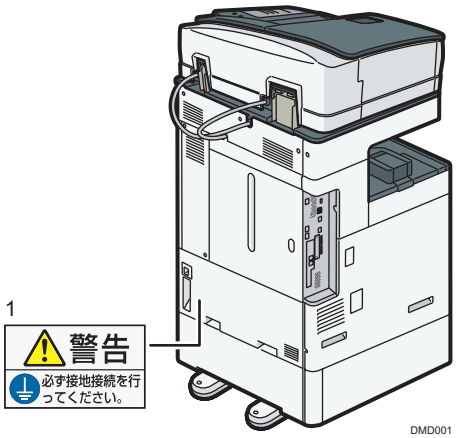
前面



1.

機械内部には高温の部分があります。紙づまりを取り除くときは、時間をおいて機内温度が十分に下がるまでお待ちください。

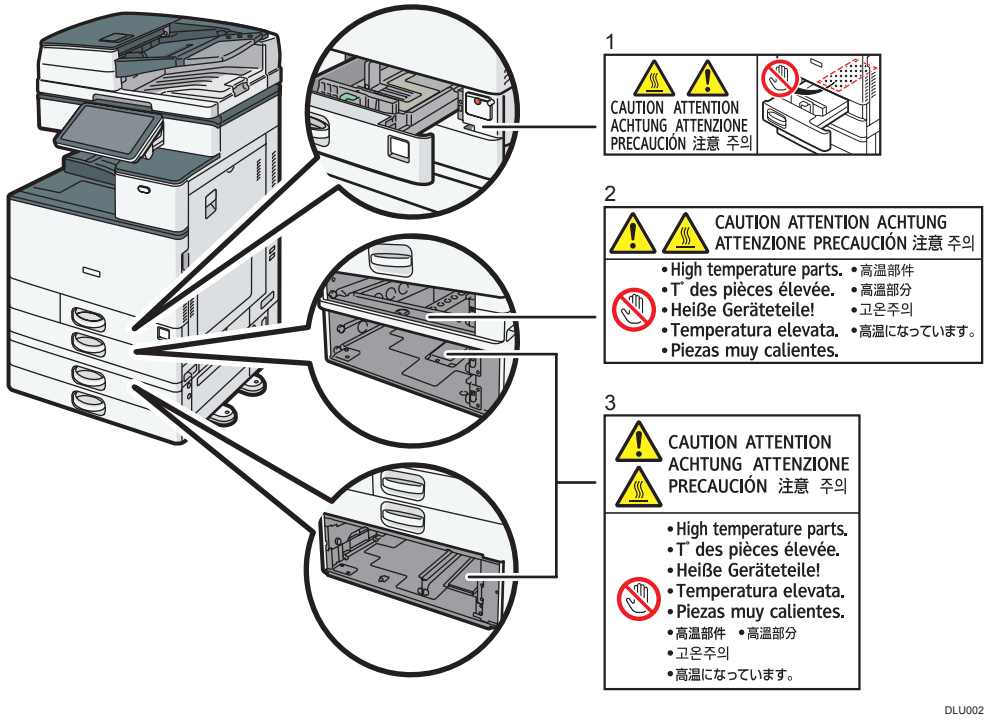
背面



1.

接地接続してください。接地接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

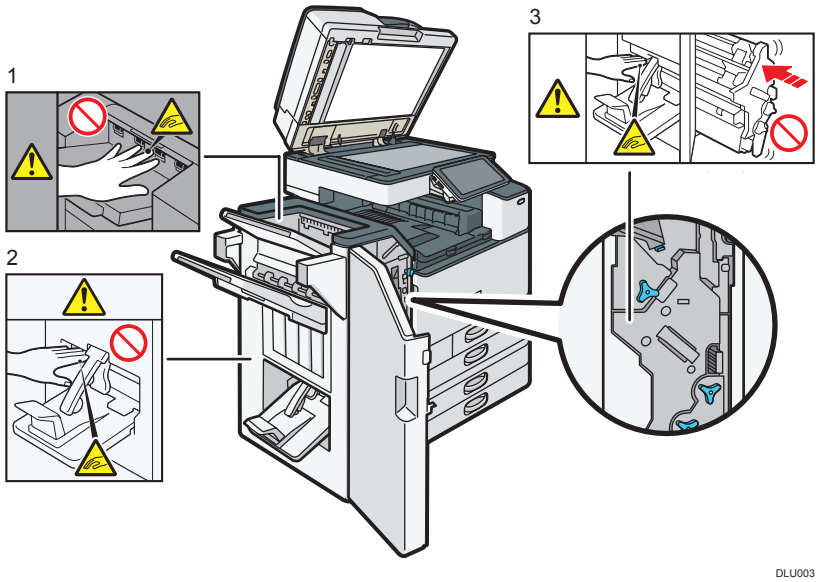
給紙トレイ



1、2、3.

このラベルの貼られている場所の周囲は高温になっていることがありますので、触らないようにしてください。

1000 枚フィニッシャー、1000 枚中とじフィニッシャー



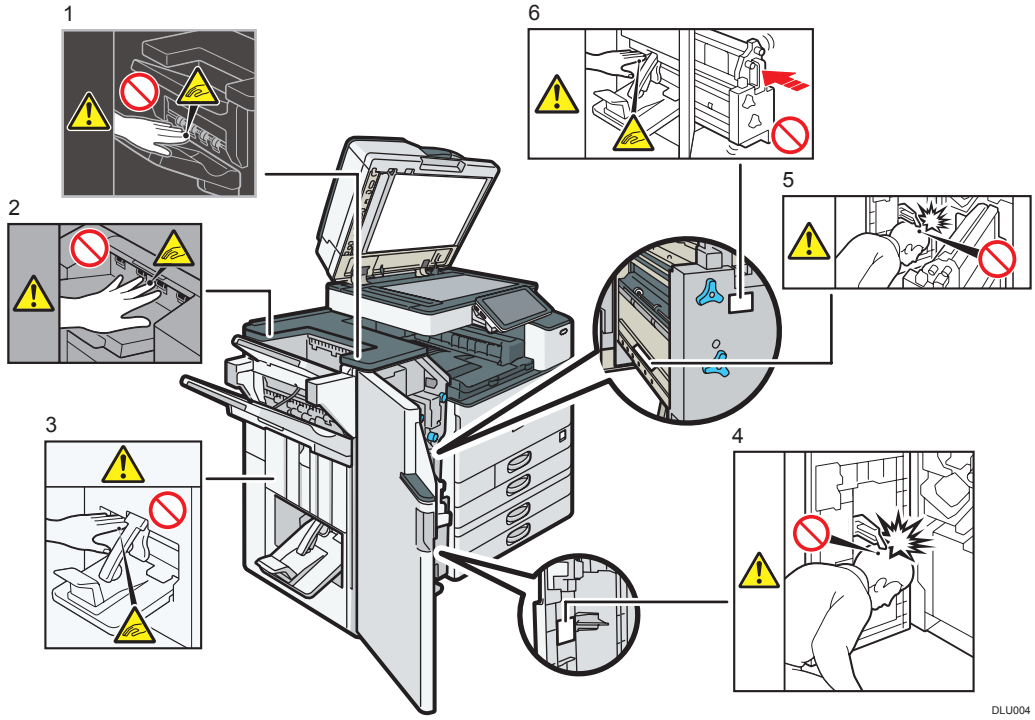
1.

機械が動いているときは、転写紙を送るためのローラ、コロなどが回転します。機械が動いているときは、ローラ、コロなどに手を触れないでください。

2、3.

フィニッシャーのステープルユニットを引き出すとき、戻すときは、中とじ排紙口に手を入れて操作しないでください。機械の隙間に指を挟み、けがの原因になります。

3000 枚フィニッシャー、2000 枚中とじフィニッシャー



1、2.

機械が動いているときは、転写紙を送るためのローラ、コロなどが回転します。機械が動いているときは、ローラ、コロなどに手を触れないでください。

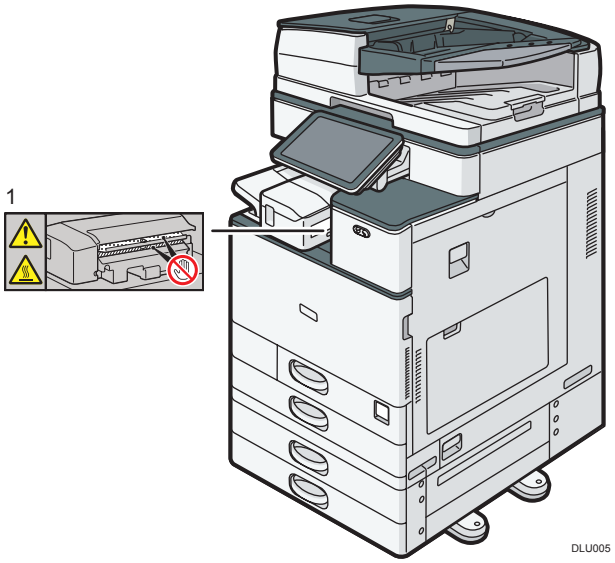
3、6.

フィニッシャーのステープルユニットを引き出すとき、戻すときは、中とじ排紙口に手を入れて操作しないでください。機械の隙間に指を挟み、けがの原因になります。

4、5.

中とじ用カートリッジを交換したり、中とじ部の紙づまりを取り除いたりするときは、前カバーの突起部に注意してください。

針なしとじフィニッシャー



1.

このラベルの貼られている場所の周囲は高温になっていることがありますので、触らないようにしてください。

接地、電源スイッチの記号

本機に使用されている接地、電源スイッチの記号の意味は以下のとおりです。

- ⏚ ： 保護接地
- ⏚ ： 接地
- ❙ ： 電源オン
- ⏻ ： スタンバイ

2. 本機に関するその他の情報

法律と規制について説明します。

法律・規制

法律上の禁止事項

海外輸出規制

本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。

安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙
- **（関係法律）**
    - 紙幣類似証券取締法
    - 通貨及証券模造取締法
    - 郵便切手類模造等取締法
    - 印紙等模造取締法
    - （刑法 第 148 条 第 162 条）

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

- **（関係法律）**
    - 刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条
    - 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

レーザーの安全性

RICOH MP C6004/C5504/C4504 シリーズのレーザーの安全性

この製品は JIS C 6802:2014 規格に基づいた「クラス 1 レーザ製品」として認定されています。この製品は 4 つの 4ch-LDA を使用しています。半導体レーザーは AlGaInP 型で、それぞれのビームは連続波であり、波長は 657～663nm、ビーム広がり角は垂直方向に 16 度（最小値）、25 度（最大値）、水平方向に 7 度（最小値）、13 度（最大値）です。4ch-LDA には 1 つにつき 4 個の発光源があり、それぞれの最大出力は 17mW です。

レーザー放射は筐体内に完全に遮へいされているため、使用説明書の指示を守ってご使用になる限りは、ご使用のどの段階においてもレーザー放射が機外に漏れ出すことはありません。

⚠注意

- ここに規定した以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

RICOH MP C3504/C3004/C2504 シリーズのレーザーの安全性

この製品は JIS C 6802:2014 規格に基づいた「クラス 1 レーザ製品」として認定されています。この製品は 4 つの AlGaInP 半導体レーザーを使用しています。それぞれのビームは連続波であり、波長は 655～663nm、ビーム広がり角は垂直方向に 21 度（最小値）、29 度（最大値）、水平方向に 7 度（最小値）、11 度（最大値）です。最大出力は 10mW です。

レーザー放射は筐体内に完全に遮へいされているため、使用説明書の指示を守ってご使用になる限りは、ご使用のどの段階においてもレーザー放射が機外に漏れ出すことはありません。

⚠注意

- ここに規定した以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

電波・高調波電流に関する事項

電波障害についての注意事項

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。
- ご利用いただいているインターフェースをリコー推奨品へ交換する。

この装置は，クラスＢ情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
ＶＣＣＩ－Ｂ

※無線 LAN（IEEE802.11b/g/n）/Bluetooth を使用するとき

2.4GHz 帯域の電波を利用しています。電子レンジやコードレス電話など、同じ周波数帯域を利用する産業、科学、医療用機器が近くで使用されていないことを確認してください。万一、干渉したときは通信状態が不安定になる可能性があります。周囲に干渉の起こる機器が存在しないことを確認してください。

※無線 LAN（IEEE802.11a/n）を使用するとき

5GHz 帯域の電波を利用しています。屋外での 5.2GHz、5.3GHz 帯域の利用は電波法により禁じられています。

高調波電流規格に関する事項

高調波電流規格　JIS　C61000-3-2 適合品

3. 付録

商標について説明します。

商標

Bluetooth 商標は、Bluetooth SIG, Inc.所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。

SD は SD-3C、LLC の商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

MEMO

© 2015,2016 Ricoh Co., Ltd.

株式会社リコー

東京都中央区銀座8-13-1　〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
http://www.ricoh.co.jp/office/supply/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。
http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様・修理に関するお問い合わせ

電話でのお問い合わせ

操作方法や製品の仕様・修理については、下記のダイヤルまたは販売店にご連絡ください。

イチ イチ イチ
0120-892-111

●受付時間（祝祭日および弊社休業日を除く）
修理のお申し込み・ご相談：9時～18時（月～土）
操作方法、製品の仕様についてのお問い合わせ：9時～17時（月～金）
●お問合せの際に機番を確認させていただく場合があります。

※お問い合わせの内容・発信者番号は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただいております。
※受付時間を含め、記載のサービス内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

Webでのお問い合わせ

ホームページからもお問い合わせ、修理のお申し込み・ご相談を承っております。
http://www.ricoh.co.jp/contact/product.html

JA　JP　　2016年2月　　D241-7006A